

交通ルールとマナーを

秋の全国交通安全運動

スローガン
「思いやる 心ひとつで 事故はゼロ」
「反射材 あなたの命の 守り札」

秋は行楽シーズンによる交通量の増加に伴い、事故の多発が予想されます。一人ひとりが交通ルールとマナーを守り、交通事故の防止に努めましょう。

交通事故防止のために

- △車は…▽
 - 出かける前に確認
シートベルトやチャイルドシートを正しく着用しましょう。また、着用を確認してからエンジンを始動しましょう。
 - 高齢者運転者標識(紅葉マーク)
70歳以上の運転者で身体機能の低下により運転に支障がある恐れのある方は、普通自動車運転者標識を付けましょう。また、夕暮れ時のライト点灯車のライト点灯は早めに行いましょう。



△子どもの年齢・体格に合ったものを

○思いやりの運転
子どもや高齢者の道路横断等に対しては、状況に応じて止まったり、スピードを落としたりするなど、思いやりをもって対応しましょう。また、スピードの出過ぎや飲酒運転などの無謀な運転は絶対にやめましょう。

多様な課題を解決するNPO

近年、地方分権や少子高齢化など社会環境が大きく変化し、人々のニーズも多様化しています。そのような中、地域住民の自由な社会貢献活動は、行政の対応が難しい分野を補い、行政とともに公益を担っていく原動力の一つとして、期待されています。NPO法人は、保健・福祉



▲紅葉マーク

た、他の運転者はこの標識を付けた自動車に対して、幅寄せや割り込みをしてはいけません。○道路の歩行と横断
自動車に十分注意して歩行しましょう。また、道路を横断するときは、信号を確認し左右の安全を確認してから横断しましょう。
横断禁止場所での横断は大変危険です。必ず横断歩道や歩道橋を渡りましょう。
岡東金警察署
☎(04)01110
生活環境課交通防犯係
☎(70)0387

◆NPOの活動基本「非営利」
非営利とは利益を設立者や関係者に配分しないという意味で、無報酬ということではありません。
NPOは組織的・継続的に行うために、運営のルールを持ちます。法人を維持するために、提供するサービスに見合う対価を徴収することもできます。
県知事から認証を受けた町内の団体を紹介します。

振り込め詐欺にご注意を

「オレオレ詐欺」「架空請求詐欺」「融資保証金詐欺」など、あの手この手の振り込め詐欺。特に、全体の約83パーセントがオレオレ詐欺で、依然として高水準となつており、被害額も1件当たり平均約200万円と高額です。手口は巧妙化しており、「事前準備型」が横行しています。

オレオレ詐欺の防止ポイント!

- ①電話を切った後、必ず身内等に相談し、事実の確認をしましょう
- ②事実確認が出来るまでは、絶対にお金を振り込まないようにしましょう
- ③不審なときや「振り込め詐欺」と分かったら、すぐ警察に通報しましょう
- ◎今日中に振り込むよう要求する電話は、詐欺とと思ってください

★被害者の親族になりすまし、横領金の補てんや痴漢の示談金、借金返済金等の名目で、金銭の振り込みを要求してきた。
★息子に偽装し、その後弁護士や警察官に代わるというケースが多くなっています。「携帯電話の番号が変わった」といせの電話をかけて、電話確認ができないようにするケースも目立っています。
岡東金警察署 ☎(04)01110

町内のNPO法人

| 団体名 | 代表者名 | 連絡先 | 活動目的 |
|-------------|-------|-----------|---|
| 福祉アシストワーク協会 | 小川 敏雄 | (72) 9150 | 一般企業に就業することが困難な在宅の心身障害者に対し、通所の場を設けて指導訓練等に関する事業を行い、社会復帰および社会参加を促進し、心身障害者支援に寄与する |
| ウイズ | 三好 正浩 | (72) 9605 | 精神障害者に対して生活の場の提供および相談、生活支援等を行い、その生活の質の向上を図るとともに、地域住民と障害者との交流活動を行い、地域福祉の増進に寄与する |
| おしゃべりサロン | 三須 清美 | (73) 2226 | 支援が必要な高齢者等に対し自宅に近い環境で暮らせる場を提供するとともに、安心して穏やかに生活出来る暮らしを育み、地域交流を取り入れ閉鎖的にならないよう地域の方々との関わりを保ち、住みよい街づくりの増進に寄与する |
| ビバーチエ | 間野 達夫 | — | 千葉県に居住する障害者に対する就労および生活等の支援を行い、障害者が地域で暮らせる社会の実現に寄与する |
| ミュージックカフェ | 高谷 秀司 | (72) 8440 | 学童および地域市民に対して自主的・創造的な文化的活動に関する事業を行い、さまざまな社会的、文化的活動を通じてボランティア活動の増進、独創的な文化の創造、住みよい街づくりなど、広く地域社会の公益に寄与する |
| コスモス 申請中 | 青野 知子 | (73) 2594 | 障害者に対して地域生活支援に関する事業を行い、障害者福祉に寄与する |

◇NPO法人を目指す県民を対象に、毎週水13時30分～15時(祝祭日等閉庁日を除く)に説明会を開催し、申請についての相談を行っています。詳しくは、県庁NPO活動推進課 ☎043-223-4137 まで。

大網病院だより 24

骨粗鬆症のおはなし⑤ 骨検診

市町村の検診では、生活習慣や食事内容を書き込む問診表の提出と、測定機器による骨量検査を主にを行います。検査の結果は、後日通知が届きます。

骨粗鬆症の有無を検診したのち、正常者には簡単なお話しを、要指導者には栄養・運動指導を、要精検者には医療機関を紹介するといった体制をとるのが一般的です。

男女とも70代以降は、2年おきくらいに測定するのが望ましいでしょう。

骨粗鬆症検診の検診日等は、健康福祉課の発行する健康カレンダーをご覧ください。また、大網病院にも、骨密度測定装置がありますので、お気軽にご相談ください。

＜女性の検診＞

50歳ごろから骨量が低下し始めますので、閉経後は、原則として1年に1回ずつ測定するとよいでしょう。

1年間に3%以上減少があるときには、医師の診察を受け、半年に1回ずつ測定をします。このとき、治療を受けることもあります。骨量は20～40代後半まであまり変化をしませんので、できればその間に一度測定をして、自分の若いときの骨量を知っておくと、老年期になってから役に立ちます。

＜男性の検診＞

長期の寝たきりや胃腸・腎臓障害などがなければ、70代までは測定する必要はありません。

岡大網病院

☎(72)1121

歯っぴーライフ 56

良い歯のコンクール 山下さん親子が好成绩!

「平成18年度親子の良い歯のコンクール千葉県審査会」へ本町在住の山下直子さん、凜子ちゃん親子が出演し、千葉県歯科衛生士会長賞を受賞されました。

親子の良い歯のコンクールとは、3歳児健康診査受診者の中で、歯の健康が優れている親子を選出するコンクール。

山下さん親子は、町審査会、郡市審査会を経て、7月13日に県の審査会へ出場。各郡市の代表16組の中から上位3組に選ばれました。そんな山下さんが、審査会へ出場するにあたり書かれた手記をご紹介します。

私が歯について考えるのは初めてでした。歯磨きは私の記憶の中では、小学校からです。母に3分間の砂時計を渡され「これが終わるまで歯磨きなさい」と言われ磨いていました。きちんと磨いていたのかは、分かりませんが、早く砂が落ちないかなあと歯ブラシをくわえていたことを思い出します。しかし、それが良かったのか長く磨く癖が付き、人から「歯磨き長いね」とよく言われます。

娘も7、8カ月くらいから、子ども用の

歯ブラシをくわえて、遊びながら一緒に磨いていました。仕上げ磨きも嫌がらず、今では私と一緒に糸ようじもしています。

食べた後に茶葉やお水を飲むことも癖になっているようで、これが自然とムシ歯を防いだのではないかと思います。

これからも、親子共々楽しんで歯磨きをし、予防していきたいと思っています。

親子で健康な歯でいられるなんてとても素敵なことですね。今後も8020(80歳で自分の歯を20本以上残す)目指して、頑張ってください。



山下直子さん、凜子ちゃん親子
岡健康福祉課健康指導係

☎(72)8321